

特許出願中

携帯型法面締固めデバイス

SOIL PECKER



軟弱地盤・宅地簡易踏査に！
ベントナイト砕石NB工法品質管理に！

法面斜面踏査に！
トラフィカビリティ判定に！



◆ソイルペッカーの特徴◆

- ▶盛土法面・狭隘部における締固め指数出力
- ▶ポータブルコーン、キャスポルと相関
- ▶トラフィカビリティ、宅地軟弱地盤などの判定

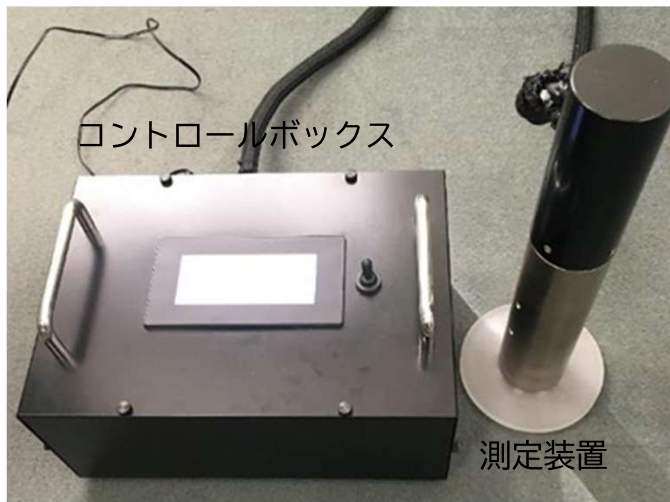


NB 一般社団法人
NB研究所
<https://nb-institute.com/>

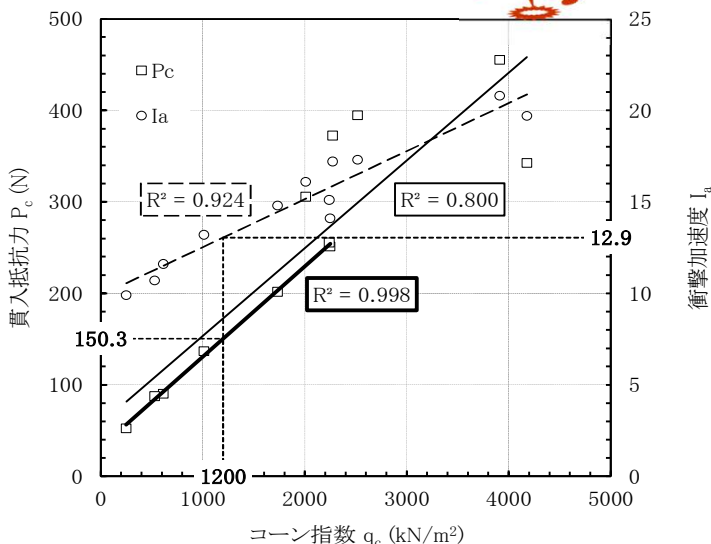
◆装置仕様◆



		仕様	備考
貫入装置	先端コーン形状	$\phi 12 \times 40\text{mm}$ 円錐形	コーン格納時
	先端コーン材質	SUS303	
	貫入力	最大300N	
	貫入距離	最大40mm	
	貫入速度	最大5mm/s(500Hz)	1mm/s = 100Hz
	寸法	最大 $\phi 120\text{D} \times 330\text{H}$	
	重量	2.1kg	
制御BOX	操作パネル	タッチパネル	
	保存データ	貫入力 貫入距離 貫入装置設置角度(XY) 測定名称 測定日時	分解能0.1N 分解能1mm 分解能0.1° 任意入力 年・月・日・時・分・秒
	データ保存件数	センサーメモリ内: 99件 SDカード: 1024件	
	バッテリー	12V100Wh	測定回数: 約1300回
	充電電圧	AC100V	
	寸法	300W \times 210D \times 130H	突起部含まず
	重量	3.5kg	



◆トラフィカビリティ◆



P_c - q_c - I_a 相関グラフ

◆ P_c - q_c - I_a 相関グラフ解説

ソイルペッカー出力値 $P_c \leq 260\text{N}$ 以下では $R^2 = 0.998$ と非常に高い相関性が認められ、日本道路協会「道路土工指針」建設機械(ダンプトラック)の走行に必要なコーン指 $q_c = 1200\text{kN/m}^2$ 以上に対し、衝撃加速度は $I_a = 12.9$ 同ソイルペッカー出力値 $P_c = 150.3\text{N}$ を示し、トラフィカビリティ測定に極めて有効であることが示された。

実施機関: 一般財団法人 地域地盤環境研究所



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



製造元: 大起理化学工業株式会社